

2010年2月期 第2四半期決算短信 (非連結)

2009年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 **株式会社イオンファンタジー**
 コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中下 善昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部本部長 (氏名) 井上 義信
 四半期報告書提出予定日 2009年10月2日
 配当支払開始予定日 —

TEL (043) 212-6203

(百万円未満切捨て)

1. 2010年2月期第2四半期の業績 (2009年2月21日～2009年8月20日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2010年2月期第2四半期 | 22,935 | — | 1,472 | — | 1,400 | — | 670 | — |
| 2009年2月期第2四半期 | 24,228 | 1.6 | 1,249 | △ 30.5 | 1,297 | △ 29.9 | 630 | △ 35.1 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|----|------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2010年2月期第2四半期 | 37 | 00 | 36 | 97 |
| 2009年2月期第2四半期 | 34 | 77 | 34 | 76 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|---------------|--------|--------|--------|------|--------|----|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 | |
| 2010年2月期第2四半期 | 22,488 | 16,432 | 16,432 | 73.1 | 905 | 88 | | |
| 2009年2月期 | 20,854 | 16,300 | 16,300 | 78.2 | 898 | 88 | | |

(参考) 自己資本 2010年2月期第2四半期 16,432百万円 2009年2月期 16,300百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2009年2月期 | — | 0 00 | — | 30 00 | 30 00 |
| 2010年2月期 | — | 0 00 | — | — | — |
| 2010年2月期(予想) | — | — | — | 30 00 | 30 00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 2010年2月期の業績予想 (2009年2月21日～2010年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

| 通期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| | 46,780 | △ 2.6 | 3,680 | 1.5 | 3,750 | 1.1 | 1,950 | 0.7 | 107 | 57 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要 : 無
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2010年2月期第2四半期 | 18,175,688株 | 2009年2月期 | 18,175,688株 |
| ② 期末自己株式数 | 2010年2月期第2四半期 | 49,390株 | 2009年2月期 | 48,935株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2010年2月期第2四半期 | 18,126,557株 | 2009年2月期第2四半期 | 18,127,620株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

＜当第2四半期累計期間の経営成績＞

当第2四半期累計期間は、長引く経済不安を背景とする生活者の先行き不安がぬぐわれず、個人消費は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社は、コアターゲットである3歳から7歳を対象とした売場の再強化に向け、キッズメダルの拡大や大型遊具・体感ゲームを中心としたファミリー部門の再構築による部門構造改革に着手いたしました。

また、カードゲームにおいては、当社の国内最大シェアのメリットを活かした、独自イベントの開催や人気カードゲーム機の増台を進め、計画を上回る売上を確保することができました。一方、遊戯機械部門については、部門構造改革に着手した店舗は一定の売上向上を果たしましたが、クレーンゲームの予想以上の売上の落ち込みで、遊戯機械部門の売上の底上げをするまでには至りませんでした。今後は、構造改革に未着手の店舗を中心に既存店投資を進めてまいります。

また、海外事業については、香港において2店舗の業務指導出店を行い、香港で3店舗体制、マレーシアで15店舗体制となりました。

国内の店舗数についてはこの第2四半期合計で5店舗の新規出店と5店舗の赤字店舗の閉鎖を行い、直営合計340店舗となります。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は依然厳しい状況が続いており、既存店売上高伸び率は90.2%にとどまりましたが、部門構造改革の結果として、クレーンゲームの景品原価の大幅削減や時間外労働の削減等、店舗の管理レベルの向上による営業原価の圧縮で、売上総利益を確保いたしました。更に、コストコントロールによる本部販管費の圧縮等で利益計画を上回るすることができました。

売上高は229億35百万円（対前年比5.3%減）、営業利益14億72百万円（同17.8%増）、経常利益14億円（同7.9%増）、四半期純利益6億70百万円（同6.4%増）となりました。

※対前年増減率は参考として記載しております。

＜当期の見通し＞

第3、第4四半期は、第2四半期累計期間で部門構造改革に未着手の店舗の中で、投資効果の期待できる店舗を中心に、キッズメダル、カードゲーム、体感ゲーム等の改廃を行い、活性化を進めてまいります。

通期売上高は、467億80百万円、営業利益36億80百万円、経常利益37億50百万円、当期純利益19億50百万円を予定しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べて23億45百万円増加し73億65百万円となりました。主な要因は、売上預け金の増加（13億4百万円）や、現金及び預金の増加（6億90百万円）であります。

(固定資産)

当第2四半期末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べて7億11百万円減少し151億23百万円となりました。主な要因は、新規出店を厳選したことによる有形固定資産の減少（6億4百万円）であります。

(流動負債)

当第2四半期末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べて15億22百万円増加し59億86百万円となりました。主な要因は新店やファミリーの活性化投資等の設備投資による設備関係支払手形（4億64百万円）の増加であります。

(固定負債)

当第2四半期末における固定負債の残高は、前事業年末と比べて20百万円減少し69百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産の残高は、前事業年度末と比べて1億31百万円増加し164億32百万円となりました。主な要因は、配当金の支払5億43百万円、四半期純利益を6億70百万円計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、40億99百万円となりました。主な理由は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、29億62百万円となりました。その主な内訳は、税引前四半期純利益13億96百万円及び減価償却費29億18百万円の計上による資金の増加と、法人税等の支払7億62百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、17億28百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出17億19百万円、敷金及び保証金の差入による支出43百万円であり、新規出店や増床・改装及び遊戯機械の入替等既存店の活性化を行ったことによる支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億43百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億43百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

2009年4月6日に公表いたしました業績予想から現時点では変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、商品は「企業会計原則と関係諸法令との調整に関する連続意見書」第四に定める売価還元平均原価法、貯蔵品は最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、商品は「企業会計原則と関係諸法令との調整に関する連続意見書」第四に定める売価還元平均原価法（貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、貯蔵品は最終仕入原価法（貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によりそれぞれ算定しております。

なお、この変更による当第2四半期会計期間に及ぼす影響額はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成21年8月20日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月20日) |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,099,973 | 3,409,390 |
| 売掛金 | 6,396 | 6,400 |
| 売上預け金 | 1,733,087 | 428,800 |
| 商品 | 350,300 | 279,407 |
| 貯蔵品 | 362,525 | 418,582 |
| その他 | 812,747 | 477,366 |
| 流動資産合計 | 7,365,029 | 5,019,947 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,359,815 | 1,489,080 |
| 遊戯機械(純額) | 7,838,100 | 8,238,198 |
| その他(純額) | 712,110 | 787,460 |
| 有形固定資産合計 | 9,910,026 | 10,514,739 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,487,658 | 1,602,093 |
| その他 | 58,096 | 65,680 |
| 無形固定資産合計 | 1,545,754 | 1,667,774 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金・差入保証金 | 2,239,339 | 2,248,648 |
| その他 | 1,428,385 | 1,403,369 |
| 投資その他の資産合計 | 3,667,724 | 3,652,018 |
| 固定資産合計 | 15,123,506 | 15,834,532 |
| 資産合計 | 22,488,535 | 20,854,479 |

(株)イオンファンタジー2010年2月期第2四半期決算短信

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成21年8月20日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月20日) |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,326,213 | 906,817 |
| 未払費用 | 1,403,171 | 903,717 |
| 未払法人税等 | 985,621 | 791,463 |
| 賞与引当金 | 154,672 | 149,206 |
| 役員賞与引当金 | — | 36,448 |
| 役員業績報酬引当金 | 27,656 | — |
| 設備関係支払手形 | 1,454,785 | 990,587 |
| 閉店損失引当金 | 593 | 11,761 |
| その他 | 633,989 | 673,921 |
| 流動負債合計 | 5,986,704 | 4,463,924 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 9,071 | — |
| その他 | 60,540 | 90,270 |
| 固定負債合計 | 69,611 | 90,270 |
| 負債合計 | 6,056,315 | 4,554,194 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,747,139 | 1,747,139 |
| 資本剰余金 | 1,720,428 | 1,720,428 |
| 利益剰余金 | 13,032,079 | 12,905,319 |
| 自己株式 | △79,471 | △79,059 |
| 株主資本合計 | 16,420,175 | 16,293,827 |
| 新株予約権 | 12,044 | 6,458 |
| 純資産合計 | 16,432,219 | 16,300,285 |
| 負債純資産合計 | 22,488,535 | 20,854,479 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 22,935,834 |
| 売上原価 | 19,870,955 |
| 売上総利益 | 3,064,878 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,592,752 |
| 営業利益 | 1,472,126 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 438 |
| 機械仕入割戻 | 14,793 |
| その他 | 14,810 |
| 営業外収益合計 | 30,041 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,392 |
| 減価償却費 | 85,101 |
| その他 | 15,332 |
| 営業外費用合計 | 101,826 |
| 経常利益 | 1,400,342 |
| 特別利益 | |
| 役員賞与引当金戻入益 | 3,302 |
| 特別利益合計 | 3,302 |
| 特別損失 | |
| 閉店損失引当金繰入額 | 593 |
| 店舗閉鎖損失 | 6,623 |
| 特別損失合計 | 7,216 |
| 税引前四半期純利益 | 1,396,429 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 957,586 |
| 法人税等調整額 | △231,719 |
| 法人税等合計 | 725,866 |
| 四半期純利益 | 670,562 |

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成21年8月20日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 11,686,714 |
| 売上原価 | 9,905,598 |
| 売上総利益 | 1,781,116 |
| 販売費及び一般管理費 | 772,737 |
| 営業利益 | 1,008,379 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 236 |
| 機械仕入割戻 | 1,055 |
| その他 | 5,093 |
| 営業外収益合計 | 6,385 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 369 |
| 減価償却費 | 42,550 |
| その他 | 6,633 |
| 営業外費用合計 | 49,552 |
| 経常利益 | 965,211 |
| 特別損失 | |
| 閉店損失引当金繰入額 | 593 |
| 特別損失合計 | 593 |
| 税引前四半期純利益 | 964,618 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 607,007 |
| 法人税等調整額 | △147,817 |
| 法人税等合計 | 459,190 |
| 四半期純利益 | 505,428 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日) |
|-------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 1,396,429 |
| 減価償却費 | 2,918,801 |
| 固定資産売却除却損益 | 63,929 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 5,465 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △36,448 |
| 役員業績報酬引当金の増減額(△は減少) | 27,656 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 9,071 |
| 受取利息 | △438 |
| 支払利息 | 1,392 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 4 |
| 売上預け金の増減額(△は増加) | △1,304,286 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △14,835 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 419,395 |
| その他 | 262,125 |
| 小計 | 3,748,261 |
| 預り保証金の増減額(△は減少) | △22,000 |
| 利息の受取額 | 206 |
| 利息の支払額 | △1,392 |
| 法人税等の支払額 | △762,843 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,962,232 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,719,506 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 18,579 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,590 |
| 長期前払費用の増加による支出 | △22,622 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △43,620 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 46,661 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,728,099 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 自己株式の取得による支出 | △411 |
| 配当金の支払額 | △543,137 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △543,549 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 690,582 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,409,390 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,099,973 |

(株)イオンファンタジー2010年2月期第2四半期決算短信

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

| 区分 | 前中間会計期間 (自 2009年2月21日 至 2009年8月20日) | |
|----------------|---|----------------|
| | 金額 (千円) | 百分比 (%) |
| I 売上高 | 24,228,478 | 100.0 |
| II 売上原価 | 21,258,713 | 87.7 |
| 売上総利益 | 2,969,764 | 12.3 |
| III 販売費及び一般管理費 | 1,720,365 | 7.1 |
| 営業利益 | 1,249,399 | 5.2 |
| IV 営業外収益 | 58,464 | 0.2 |
| V 営業外費用 | 10,256 | 0.0 |
| 経常利益 | 1,297,607 | 5.4 |
| VI 特別利益 | 10,653 | 0.0 |
| VII 特別損失 | 41,086 | 0.2 |
| 税引前中間純利益 | 1,267,173 | 5.2 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 863,587 | |
| 法人税等調整額 | △226,708 | 636,878 2.6 |
| 中間純利益 | | 630,295 2.6 |

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

| | 前中間会計期間 (自 平成20年 2月21日 至 平成20年 8月20日) |
|-------------------------------|---|
| 区分 | 金額 (千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前中間純利益 | 1,267,173 |
| 減価償却費 | 3,051,906 |
| 固定資産除売却損益 | 57,001 |
| 長期前払費用償却額 | 40,218 |
| 賞与引当金の増加額 | 5,890 |
| 役員賞与引当金の増加額 (△減少額) | △35,576 |
| 閉店損失引当金の増加額 | 28,230 |
| 受取利息 | △525 |
| 支払利息 | 7,639 |
| 売上債権の減少額 (△増加額) | △7,923 |
| 売上預け金の減少額 (△増加額) | △1,271,731 |
| たな卸資産の減少額 | 29,739 |
| その他の流動資産の増加額 | △212,020 |
| 前払年金費用の減少額 | 11,697 |
| 仕入債務の増加額 | 260,841 |
| その他 | 399,186 |
| 小計 | 3,631,746 |
| 利息の受取額 | 525 |
| 利息の支払額 | △7,639 |
| 法人税等の支払額 | △1,014,450 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,610,182 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,474,631 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 40,254 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △24,256 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △315,000 |
| 長期前払費用の増加による支出 | △27,285 |
| 敷金・差入保証金の増加による支出 | △69,996 |
| 敷金・差入保証金の減少による支出 | 56,587 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,814,328 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増額 | 1,000,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △555 |
| 配当金の支払額 | △543,676 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 455,768 |
| V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額) | △748,378 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,066,089 |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,317,711 |